

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	福島の子どもたちと夏休み・保養プロジェクト
支援対象者・エリア	東京近郊
企画開催地	東京都新宿区
企画名称	講演会「福島を忘れない」
実施期間	2022年1月15日

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

2013年ドキュメンタリー映画「内部被ばくを生き抜く」の映画会を開き、監督の鎌仲ひとみさんのお話を聞きました。福島県内で小児甲状腺がんが増える中、ベラルーシでおこなわれている「保養の取り組み」一時でも被災地を離れる事が子供にとって心身ともに有効で必要なことだと知り、「福島の子どもたちと夏休み」の保養を計画しました。2014年南小谷白馬村で南相馬の子ども達21名は3泊4日を過ごしました。1日目の緊張した面持ちの子ども達には見られなかった笑顔を残して4日目に南相馬に帰って行きました。その後、2015年から2019年まで神奈川、東京、静岡、宮城等々と南相馬の子どもたちの保養を実施してきました。2020年の準備を始めたところにコロナが広がり、今までの「子ども達の保養」を断念せざるを得なくなりました。企画は変わっても「福島をわすれない」を継続する事が大事だとの思いで、「子どもたちの保養」を講演会「福島を忘れない」に変更しました。2022年1月15日オミクロン株感染が広がる中、講演会「福島をわすれない～東日本大震災、津波・原発事故から10年を過ぎて～」NPO法人野馬土代表理事・三浦広志さんを迎えて講演会を開催しました。参加者の感想から、現状を知る事が次の行動、取り組みに繋がると確信しました。

活動の様子（写真など）

「福島をわすれない  
～東日本大震災、津波・原発事故から  
10年を過ぎて～」講演会  
新宿文化センターにて  
2022年1月15日（土）開催 61名参加



登壇者：NPO法人 野馬土  
代表理事 三浦広志氏